

室 蘭 民 報

西陵中の生徒たちにボランティア体験を話す海星高の生徒



「普通が一番幸せ」実感

被災地での体験語る 西陵中で海星高生

登別

被災地でのボランティア

ボランティア活動に当たった室蘭市高砂町の海星学院高校(香川謙二校長、210人の生徒が西陵中学校(嶋原洋二校長、168人)で、全校生徒に体験談などを発表した。

海星高では一昨年から希望者を対象に被災地でのボランティアを行っている。今年も6人が7月8〜12日の日程で釜石市を訪れ、傾聴ボランティアなどに当たった。

野里優花さん(1年)、荒井祐人君(同)、薩来里穂さん(同)、田村美菜さん(同)、網野来海さん(同)、奈良岡圭吾君(2年)が発表した。

野里さんは「被災者が言っていた『普通が一番幸せ』』ということを実感している。自分のことよりも周りの人のことを考えることを学んだ。またまた復興はこれからということ伝えるのが、現地を見た自分たちの役割」と話していた。(鞠子理人)